

議会だより

Vol. 189
2017.1.20



12月の
定例会

2 帰還を間近に真剣議論！
町民との意見交換会開催

13 紆余曲折
避難指示解除の政府方針

7 スバリ!! 町政を問う
5 議員が質問

18 先進地に学ぶ
石巻市・女川町 行政視察

輝かしい未来へ 笑顔でピース! / 富岡町成人式

帰還を間近に真剣 議論! 町民との意見交換会開催

富岡町議会は、平成28年9月から10月にかけて、県内に避難されている町民の皆さまと意見交換会を開催しました。

町が避難指示解除の目標に掲げる平成29年4月まで半年を切った現在、長引く避難生活を送る心境や不安に思っていること、ふるさとへの熱い思いなど、様々なご意見、ご質問をいただきました。

議会として、皆さまからいただいたご意見を町政に反映させるため、しっかりと町に提言していきます。

◇意見交換会実績◇

日時	場所	参加人数(およその数)
平成28年9月29日 午前	三春交流館 まほら	20人
平成28年10月4日 午前・午後	ビッグパレットふくしま	50人
平成28年10月6日 午前・午後	いわき支所多目的集会所	50人



郡山会場 (ビッグパレットふくしま)



いわき会場 (いわき支所多目的会議室)



三春会場 (三春交流館まほら)

【いただいた主な意見】

- 徹底した除染による線量の低減
- 町内の防犯対策の強化
- インフラ復旧・住環境の整備
- 町の基幹産業としての農業のあり方
- 特養を含めた高齢者福祉対策
- 夜ノ森駅のツツジの保全
- 企業誘致・雇用の場の確保

これからの富岡町を どう考えるか

問 震災から6年目に入り、町民の意識も避難したてのころとはだいぶ変わってきた。議員として、これからの富岡町の将来像をどう考えるか。

答 **【塚野芳美議長】** 議員の中でも、今後合併をしなければいけないという話が出てくることも事実だが、将来的な合併よりも、今はとにかく帰れるような状況をつくり、ふるさと富岡を取り戻すということに全力で取り組んでいる。合併議論は次のステップに進んでからになる。

【渡辺英博副議長】 インフラ整備などにある程度めどがついたときに、町村合併という話になってくると思うが、ただ、被害状況や財政状況がそれぞれの町村ですごく違うので、合併という話になったとしても簡単にはいかないと思う。

【高野泰議員】 私は、将来的なまちづくりを考えたときに大切なのは、人づくりだと思う。富岡町にかかわる人が来てよかったと思えるような誇りが持てるまちをつくり、次世代につないでいきたい。

【遠藤善議員】 今後当面の間は富岡町単体でやっていかなければならぬ。その先は、自分の町のことでなく、近隣の町村のことも自分なりの考えで、1つにならなければ、1つにならなければと思うし、そうしなければいけないと思う。

【堀本典明議員】 自分の子どもや孫にふるさとをつないでいきたいという思いがある。今の復旧期から復興期に移った時に、富岡町ですばらしいなと思えるような復興を成し遂げられるかが重要だと思う。

【塚野芳美議長】 議員の中でも、今後合併をしなければいけないという話が出てくることも事実だが、将来的な合併よりも、今はとにかく帰れるような状況をつくり、ふるさと富岡を取り戻すということに全力で取り組んでいる。合併議論は次のステップに進んでからになる。

【渡辺三男議員】 何年先になるかわからないが、将来的には双葉郡が1つにならないうちやっつけていけないと思っている。そのために、今、しっかりと先を見据えたまちづくりをしていく必要がある。

【安藤正純議員】 帰還する方の多くが高齢者だということを考えると、町として成り立っていかれるかというのには疑問がある。今後は、医療や教育等、富岡町だけという視点から双葉郡全体へと少し視野を広げて考えるべきだと思う。

【早川恒久議員】 今は人手不足ということもあって、インフラ復旧で本当に精いっぱいという状況。今後は震災前に富岡町に住んでいた方が多く、町外、県外の方が富岡町に住んでみたいと思うようなまちづくりも必要だと思っている。

【高野匠美議員】 帰還した町民に、生活の中でどのような生きがいを作ってあげられるか、元気に暮らせる環境を作ってあげられるかが大切なことだと思っている。

こんなことが決まりました。

人事案件

人権擁護委員として
適任である

人権擁護委員の任期満了に伴い、新たに高岡英一さん、坂本栄司さんの両名を人権擁護委員として適任であると決議しました。
任期は平成29年4月1日からの3年間です。
(12月定例会 原案可決)



坂本 栄司さん
(本町行政区)



高岡 英一さん
(夜の森駅前北行政区)

動産の取得

施設の備品を
購入

役場庁舎及び商業施設の備品の購入について、可決しました。
(10月臨時会 全会一致・原案可決)

【富岡町役場備品】※机、椅子、ラック等

契約金額 : 73,224,000円
契約相手方 : サトウ事務器機

【複合商業施設備品】※商品陳列棚、カウンター等

契約金額 : 43,612,560円
契約相手方 : (株)双葉事務器

本格復興・古里再生に全力で取り組む 町政報告要旨

【住環境の整備】

10月1日の町立とみおか診療所の開設や、11月25日のさくらモールとみおかの先行オープン等、主要施設が相次いで形になったほか、災害公営住宅第1期分の入居申込の受付も開始され、近く入居予定者を決定する抽選会を開催する運びとなっています。また、第2期分についても、100戸程度の設置が決定し

ており、復興拠点として位置付けた曲田・岡内地区の整備も、計画どおり進捗しているところ です。

【今後の整備計画】

県立の二次救急医療機関「ふたば医療センター(仮称)」の王塚地区への設置決定や、来年4月からのいわき富岡間及び復興拠点内循環のバス運行に係る新常盤交通株式会社との協定の締結、「人と



町政報告をする宮本町長

町とのつながりアクシヨンプラン」の策定等、また、夏に国より示された帰還困難区域の再生の方向性等も踏まえ、我が町の復興が着実に進んでいることを改めて実感しています。このような中、11月に実施した町政懇談会で町民の皆さまからいただいたご意見等を踏まえ、国等に対し、町の実情や考え方をしっかりと伝えていきます。

【役場機能の再開】

昨年度より進めている役場機能回復工事は、2月中には概ね完了する見通しです。また、既に準備宿泊も開始となり、町立診療所や複合型商業施設のみならず、ガソリンスタンドやコンビニエンススト

アの再開・新設、富岡駅前のホテル建設を始めとする民間活力による動きも活発になってきました。

こうした状況を踏まえ、来年4月の帰還開始目標を見据えつつ、来年3月末までには、役場の全ての機能を町内にて再開します。

【古里再生に向けて】

富岡町にとって、本格復興の正念場は、これから続きます。私は、町民の皆様の古里再生への願いを大切にしながら、その歩みをこれまで以上に確かなものとすべく、今後とも各種事業等に引き続き全力で取り組んでいく覚悟ですので、更なるご理解とご協力をお願いいたします。

不動産の取得

災害公営住宅
事業用地を取得

富岡町災害公営住宅整備事業(第2期分104戸)における事業用地の取得について、可決しました。
(10月臨時会 全会一致・原案可決)

工事契約

災害公営住宅を
取得

富岡町災害公営住宅整備事業(第1期分50戸)における住宅等の取得について、可決しました。
(12月定例会 全会一致・原案可決)

総合福祉センター
復旧工事契約

富岡町総合福祉センター復旧工事【地震経年劣化】の請負契約について、可決しました。
(10月臨時会 全会一致・原案可決)

総合体育館
災害復旧工事契約

富岡町総合体育館災害復旧工事の請負契約について、可決しました。
(10月臨時会 全会一致・原案可決)

条例改正

町営住宅入居者の
負担を軽減

町営住宅(町内の災害公営住宅を含む)に入居する際に必要な保証人の資格要件を、富岡町民だけでなく、町外に住む方も保証人になれるように緩和しました。
(12月定例会 全会一致・原案可決)

栄町駐車を廃止

富岡町災害公営住宅(第2期第3工区分)の整備にあたり、住宅用地として使用するため、栄町駐車場の用途廃止を行います。
(12月定例会 全会一致・原案可決)

【取得する不動産】

- 敷地 大字小浜字反町地内 (曲田土地区画整理事業地内)
大字仏浜字釜田地内
- 面積 7,088.23㎡
- 取得予定価格 134,273,055円
- 取得相手方 11名の地権者

【取得する不動産】

- 敷地 大字小浜字中央地内(曲田土地区画整理事業地内)
- 戸数 住宅:木造平屋建て40戸、2階建て10戸
集会所:木造平屋建て1棟
- 取得予定価格 1,428,755,976円
- 取得相手方 大和ハウス工業(株)福島支社

【工事請負契約内容】

- 名称 富岡町総合福祉センター復旧工事【地震経年劣化】
- 工期 平成29年3月21日まで
- 契約金額 86,778,000円
- 契約相手方 (株)倉伸

【工事請負契約内容】

- 名称 富岡町総合体育館災害復旧工事
- 工期 平成29年3月21日まで
- 契約金額 196,560,000円
- 契約相手方 桂建設(株)



総合体育館の現況



総合福祉センターの現況



災害公営住宅(第2期分)整備用地

ズバリ!!

町政を問う

5議員が質問

12月定例会の一般質問に5議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 堀本 典明 議員 8

- 帰還開始は5月以降にすべき
- 防犯カメラの設置補助を

2 渡辺 高一 議員 9

- 仮設住宅の集約が必要では
- 管理型処分場への対応は
- 仮設焼却施設の運営計画は

3 遠藤 一善 議員 10

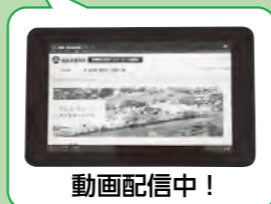
- 消防団組織の再編方針は
- 空き家リフォームに補助金を

4 早川 恒久 議員 11

- 役場職員の住まいの確保は
- 現在配布しているタブレットは

5 高野 匠美 議員 12

- 町内の街灯の整備方針は
- 有事の際の安全対策は



動画配信中!

条例改正

役場組織の改編

目標とする平成29年4月1日の町民の帰還環境を整える一環として、役場本庁機能を町内で再開させるための組織改編を行います。主な改編の内容は左表のとおりです。

富岡町課設置条例の一部改正
富岡町役場事務所及び支所並びに出張所の設置に関する条例の一部改正

(12月定例会 全会一致・原案可決)

【平成29年4月1日の組織改編の主な内容】

- 郡山事務所を「支所」とし、いわき支所と同程度の機能を配置する。両支所とも「総務係」「業務係」「健康管理係」「住宅支援係」の4係体制となる。
 - 両支所に「住宅支援係」を新設することに伴い、生活支援課は廃止する。
 - 三春出張所・大玉出張所は廃止し、出張相談窓口の開設等により、町民の利便性の確保に努める。
 - 安全対策課を生活環境課に変更する。復興推進課で行っていた環境衛生・一般廃棄物等の事務を生活環境課「環境衛生係」(新設)で行う。
- ※その他、既存の係の別の課への移動や統合がある。

【富岡町役場 庁舎再開の概要】(予定)

- ◇3月議会は、役場議場で開催
- ◇役場業務再開時期
- ＜3/6 業務再開＞
 - ・総務課 ・企画課 ・安全対策課
 - ・産業振興課 ・出納室 ・議会事務局(復旧課・拠点整備課・復興推進課)
- ＜3/27 業務再開＞
 - ・税務課 ・住民課 ・健康福祉課
 - ・教育総務課
 (窓口業務は、継続して郡山事務所で行う)

一般会計 補正予算 災害公営住宅等の整備のために

《32億485万円を増額補正》

一般会計予算を32億485万円増額し、予算総額261億5242万円としました。災害公営住宅(第2期分)整備のための基金積立や町内の施設整備費などの増額補正です。

【福島再生加速化交付金基金積立金(国交省)】 27億8746万円の増額補正

災害公営住宅(第2期分)を整備するための費用として、基金を積立

【県立医療施設整備事業費】 5986万円の増額補正

2次救急医療施設「ふたば医療センター(仮称)」の土地購入と造成工事にかかる費用

【富岡駅設備整備事業費】 1億7000万円の増額補正

富岡駅に設置するエレベーター等の工事費用

【体育施設管理費】 1億9180万円の増額補正

総合体育館や多目的広場等を復旧させるための工事費用

【その他】 中小企業等支援事業費 1500万円の減額補正

河川整備事業費 4900万円の減額補正 等



渡辺 高一 議員

問 仮設住宅の集約が必要では

答 状況を見て今後判断する

うな仮設住宅の入居者には供与期間中であっても、入居者が比較的多い他の仮設住宅へ移動していただく必要が

したがって、このよ
設住宅の供与期間を平
成30年3月末まで延長
し、それ以降は避難指
示解除の見通しや解除
後の住居確保の状況な
どを見据えながら今後
判断するとしています。
しかし、住宅再建に
よる退去者が増加する
ことにより入居者が少
数となった仮設住宅で
は、浄化槽などの共用
設備の維持管理や増加
した空き家の防犯、防
火対策の面などで運営
に支障が出ることで予
想されます。

三春、大玉の出張
総務課長
三春、大玉の出張
所は今後どうするのか。

町内再開することを
考えており、現在の郡
山事務所は郡山支所
として、いわき支所は
郡山支所同様、健康
管理係、住宅支援係
を新設し、これまで以
上に町民の避難生活の
サポートに努めます。



4月以降相談窓口を開設(場所は未定)

頻度としては週2
回程度、場所は復興
住宅、または仮設住宅
の集会所をお借りして
1年程度は開設する
考えです。
利用状況によっては
開設期間の前倒しや
延長などを自治会の
皆さんと相談、協議し
ながら判断していき
たいと考えています。

引き続き当該事業
の安全性について、責
任を持って厳しく監視
していきます。

環境省と
富岡町、楡葉町及び
福島県の4者間でこ
し6月に安全確保のた
めの協定を締結し、県
と両町が国による事業
の安全性について監視
確認を行っていくこと
としており、現在準備
工事として既存の廃棄
物の上流から下流への
埋め立て直し、管理事
務所の新築工事、水
質のモニタリング調査
などが行われています。

後復興拠点整備を進
める上でも、町民の安
全、安心の観点から
も重要であると考え
ています。

仮設焼却
施設の運営計画は
国の責任のもと
確実に実施する
期限は。
仮設焼却
施設は、環境省より
平成32年度まで延長
する計画が示された
ところであり、多重防
御の観点からも現在
施設周辺で進められ
る防災林や県道広
小高線の県事業を
延ばせることなく、
完了目標までに解体
撤去するとの内容
です。
町としても防災
減災施設整備事業
などの早期完了が、
後復興拠点整備を
進める上でも、町
民の安全、安心の
観点から重要であ
ると思います。



堀本 典明 議員

問 帰還開始は5月以降にすべき

答 4月帰還開始を目指し万全を期す

ら新年度にかけては、
様々な相談、窓口業
務が重複する期間で
あり、役場庁舎への
引越し作業などが
重なることで町民の
皆さんに混乱を招く
おそれも考えられま
す。このため、町内
の再開に係る各種準
備については、帰還
開始の目標時期を十分
見据えた上で、各部
署において可能な事
項から早期に着手し、
行政サービスの低下
などで町民の皆さん
のご迷惑とならない

よう万全を期してい
きたいと考えます。
これまで全町で
避難指示解除を行っ
た各町村から、行政
サービスでの問題点
など情報の提供はあ
るのか。

今後各課と十分に
協議をし、計画を策
定して進めていき
たいと考えます。

役場の3月の移
行に向けて、十分な
計画はできているか。

3月引越しに備え、
避難指示を解除してい
る自治体にも情報提
供を求めていきたい
と考えます。

我々の現時点での考
えですので、役場が4
月に戻ること大きな懸
念を持っていてるわけ
はありません。役場の
機能に不安がない以上
は避難指示解除の目
標を今変更するという
考えはありません。

2年前から4月の帰
還に向けて、どのよう
な行程で準備をすれば
よいかという目標を
持つてやってきました。
役場機能の回復は
避難指示解除の有無
にかかわらず、目標ど
おり行うというのが
我々の現時点での考
えですので、役場が4
月に戻ること大きな懸
念を持っていてるわけ
はありません。役場の
機能に不安がない以上
は避難指示解除の目
標を今変更するという
考えはありません。

2年前から4月の帰
還に向けて、どのよう
な行程で準備をすれば
よいかという目標を
持つてやってきました。
役場機能の回復は
避難指示解除の有無
にかかわらず、目標ど
おり行うというのが
我々の現時点での考
えですので、役場が4
月に戻ること大きな懸
念を持っていてるわけ
はありません。役場の
機能に不安がない以上
は避難指示解除の目
標を今変更するという
考えはありません。

目標とする帰還
時期まで何カ月もな
い状況の中で、まだ
計画ができていない
というのは厳しいと
感じる。4月1日の業
務再開を目標としな
くてもいいのでは。

個人宅に設置する
防犯カメラの設置補助
効果の高い防犯カメ
ラについて、設置を希
望する町民へ設置補助
などの考えはあるか。

防犯カメラの設置補助
については、財源の確
保などを確認しながら
検討を進めます。

防犯カメラの設置補助
については、財源の確
保などを確認しながら
検討を進めます。

防犯カメラの設置補助
については、財源の確
保などを確認しながら
検討を進めます。



4月に町内役場での業務を本格再開



早川 恒久 議員

問 役場職員の住まいの確保は

答 町内の住居確保に努める

問 職員の住まいの確保は、災害対応の面からも非常に重要であると認識しております。相当数確保する必要があります。不動産仲介業者等と協議を行い、確保に努めます。

答 町長 職員の住まいの確保は、災害対応の面からも非常に重要であると認識しております。相当数確保する必要があります。不動産仲介業者等と協議を行い、確保に努めます。

問 職員の住まいの確保は、災害対応の面からも非常に重要であると認識しております。相当数確保する必要があります。不動産仲介業者等と協議を行い、確保に努めます。

答 町長 職員の住まいの確保は、災害対応の面からも非常に重要であると認識しております。相当数確保する必要があります。不動産仲介業者等と協議を行い、確保に努めます。

問 職員の住まいの確保は、災害対応の面からも非常に重要であると認識しております。相当数確保する必要があります。不動産仲介業者等と協議を行い、確保に努めます。



配信予定のアプリ画面（※開発中）



答 総務課長 来年度に使用方法等の説明会を実施する計画を進めています。

問 機器の操作説明会を実施する考えは。

答 総務課長 町の財政的状況や税負担の公平性などを考慮しながら、各集会所に設置し、ご利用していただくなど、様々な角度から検討し、早急に判断していきたいと考えます。

問 現在配布しているタブレットは3月で終了4月以降はアプリを配信

問 町は、町民に情報を提供するアプリを開発しているが、現在配布しているタブレットはどうなるのか。

答 町長 個人で携帯端末機器を所有していない方については、町からの電子媒体による情報の取得が困難となることから、町として財源の確保を含め、配付の可否や対象を検討していきます。

答 町長 事業期間の満了や町が配信する情報量の増大などにより情報の取得に時間がかかるなどの配付しているタブレットの性能の問題、個人が所有する携帯端末機の普及状況などの観点から、3月での事業終了を考えています。

問 今後引き続き国、県及び関係機関との連携を密にするための支所機能の強化及び各種アクションプランの策定などの周知を重視した広報機能の強化などを図っていきます。

答 町長 事業期間の満了や町が配信する情報量の増大などにより情報の取得に時間がかかるなどの配付しているタブレットの性能の問題、個人が所有する携帯端末機の普及状況などの観点から、3月での事業終了を考えています。

問 今後引き続き国、県及び関係機関との連携を密にするための支所機能の強化及び各種アクションプランの策定などの周知を重視した広報機能の強化などを図っていきます。



遠藤 一善 議員

問 消防団組織の再編方針は

答 町内、いわき、県中の仮班を編成

問 今後町内で活動できる消防団員の減少が予想される中、消防団組織の再編方針は。

答 町長 現状において町内ですぐに活動できる消防団員は限定的であると考えています。これまで消防団と協議を進めてきましたが、当面の対応として現在の避難先及び帰町する消防団員による仮の班を編成、災害規模に応じた出動態勢を整えることとし、帰還した町民の安全、安心の確保に努めていく考えです。

答 安全対策課長 仮の班としては、町内に帰還する消防団員、いわき支部、さらに県中支部の避難先から駆けつける消防団ということで現在検討しています。



消防団検閲式(平成28年10月)

問 団員確保に向け、団員派遣など町内企業との連携を強化すべきでは。

答 町長 事業所の消防団活動への協力を表示する消防団協力事業所表示制度を推進し、より多くの方に参加いただくために、機能別分団制度を導入するなど企業からの協力を得ることを検討します。

答 安全対策課長 今後、機能別消防団員制度^{※1}について検討していきます。

答 町長 機能別消防団員制度とは、大規模災害時において企業の協力を得て、重機及び特殊車両の活用により被害者等を救出するための大規模災害対応団員や災害情報等を消防団に指示伝達、住民の誘導を行う情報収集団員を登録する制度。

問 空き家リフォームに補助金を見極め支援する

問 町内居住者確保に向け、福島県空き家・ふるさと復興支援事業^{※2}に町独自の補助金の上乗せ事業を行うべきでは。

答 町長 町民はもとより新たな住民も含め、居住環境の整備を進めることが富岡町発展のためには不可欠です。上乗せ補助についても、今後のニーズを十分に見きわめた上で、総合的な取り組みの一つの選択肢として研究していきます。

答 町長 リフォーム、我が家の改築、新築するものについてもできるだけ支援をしていきたいと考えています。

答 町長 町内住宅の耐震対策は極めて重要な課題であると認識しており、休止していた事業の再開を目指すとともに、次年度からは耐震改修への補助事業も新たに追加し、今後も住民の安心、安全のため、住宅の耐震化事業を推進していきます。

問 県木造住宅耐震診断事業を再開し、県耐震改修補助事業を開始すべきでは。

答 町長 町内住宅の耐震対策は極めて重要な課題であると認識しており、休止していた事業の再開を目指すとともに、次年度からは耐震改修への補助事業も新たに追加し、今後も住民の安心、安全のため、住宅の耐震化事業を推進していきます。

^{※1}機能別消防団員制度とは、大規模災害時において企業の協力を得て、重機及び特殊車両の活用により被害者等を救出するための大規模災害対応団員や災害情報等を消防団に指示伝達、住民の誘導を行う情報収集団員を登録する制度。

^{※2}福島県空き家・ふるさと復興支援事業とは、県が、東日本大震災や原子力災害で被災、避難されている方や県外から県内に移住される方が購入、または貸借した県内の空き家を清掃、またはリフォームする費用の一部を補助する事業。

避難指示解除の政府方針

平成28年10月25日、11月24日及び平成29年1月10日、富岡町役場 桑野分室で全員協議会を開催し、国より避難指示解除についての説明を受けました。

《避難指示解除に対する政府方針》 ※平成28年10月25日提案

【避難指示解除の時期】 平成29年1月

《国の説明》

「除染による空間線量率の低減について相当程度の効果が確認されている」「早期の町内帰還を望む町民にとっての環境回復は概ね整っている」等の理由から、町政懇談会の町民の意見を踏まえ、町とも協議しながら、最終的な判断をする。

【議員の意見】 ●平成29年1月避難指示解除という話はあまりに唐突すぎる。警察や消防、役場等の機能も回復していない状況の中での避難指示解除は無理だ。

- 空間放射線量のモニタリングデータの公表が不十分である。自分が暮らす地域の空間線量を把握できないまま、生活することはできない。
- 毛萱の仮設焼却施設の運用も不透明であり、国の説明に不信感がある。



《平成29年1月の避難指示解除を撤回》 ※平成28年11月24日提案

国は、議会での議員の意見及び町政懇談会での町民の意見を踏まえ、平成29年1月の避難指示解除は困難であると判断。平成29年1月の避難指示解除の提案を撤回した。

【議員の意見】 ●一方的な提案や撤回は町民に混乱を与える。熟慮に熟慮を重ねたうえで提示してほしい。

- 避難指示解除にあたっては、空間線量に対するしっかりとした目標値を定めるべきだ。
- 労働基準監督署や法務局など、国の機関も早急に業務を再開するべきだ。



《避難指示解除に対する政府方針》 ※平成29年1月10日提案

【避難指示解除の時期】 平成29年4月1日

《国の説明》

- 警察(平成29年3月末)及び消防(平成30年4月)の本格再開を予定
- 空間放射線量の詳細なモニタリングデータをホームページに掲載
- 国の機関も早期の帰還、業務再開を目指す

【議員の意見】 ●町が目標として掲げる平成29年4月1日避難指示解除の提案を評価する。引き続き、丁寧な除染をするよう求める。

- 特急の開通や高速道路の4車線化、宅配便や新聞などの生活環境のさらなる充実を関係機関、業種に対して国から働きかけをしてほしい。



高野 匠美 議員

問 町内の街灯の整備方針は

答 LED照明に随時更新



LED照明への切り替えを実施

問 準備宿泊を実施している中で、気を付けている点は。

答 町長 一番に考えなくてはならないのは、町民の皆さんに準備宿泊を安全に安心して行っていたり、困り事ができたりした場合などに備えて、緊急通報システムの貸し出しを行っています。

問 今後、町内の街灯はLED照明にするのか。

答 復旧課長 維持修繕はもとより、老朽化している商店街の街灯を中心にLED照明に更新を図るべく工事を発注して、今年度中には完了する見込みです。今後、計画的にLED照明への更新を進めていきたいと考えています。

問 準備宿泊している方に個別訪問はしているか。

答 町長 準備宿泊の開始後には宿泊されている方の不安解消に努めるために、町や内閣府などの関係者が自宅を訪問して、生活していく上での課題やご意見を伺いました。12月8日からは保健師による戸別訪問を始めており、健康相談などを通じて準備宿泊者の健康管理にも取り組んでいます。また、11月25日には町内の交流サロンに集まり、健康や福祉、介護の相談会や準備宿泊者同士のコミュニティづくりを行い、孤立せずに安心して宿泊できるように努めました。

問 保健師の個人宅訪問はどのように行っているか。

答 健康福祉課長 対象は主に高齢者であり、健康状態の確認が目的です。訪問時、不在だったことも多かったため、今後は事前にアポイントを取りながら、訪問したいと考えています。

問 有事の際の安全対策は町全体の防災力向上に努める

答 町長 本年9月に地域防災計画の改定及び原子力広域避難計画を策定したところで、加えて、現在職員

問 準備宿泊をした時に、今の状況では女性は安心して住めないと感じた。女性の意見をもっと取り入れるべきでは。 答 副町長 準備宿泊をされている女性の視点を大事にし、課題の抽出を図っていききたいと考えています。

路線バスで利便性の向上を

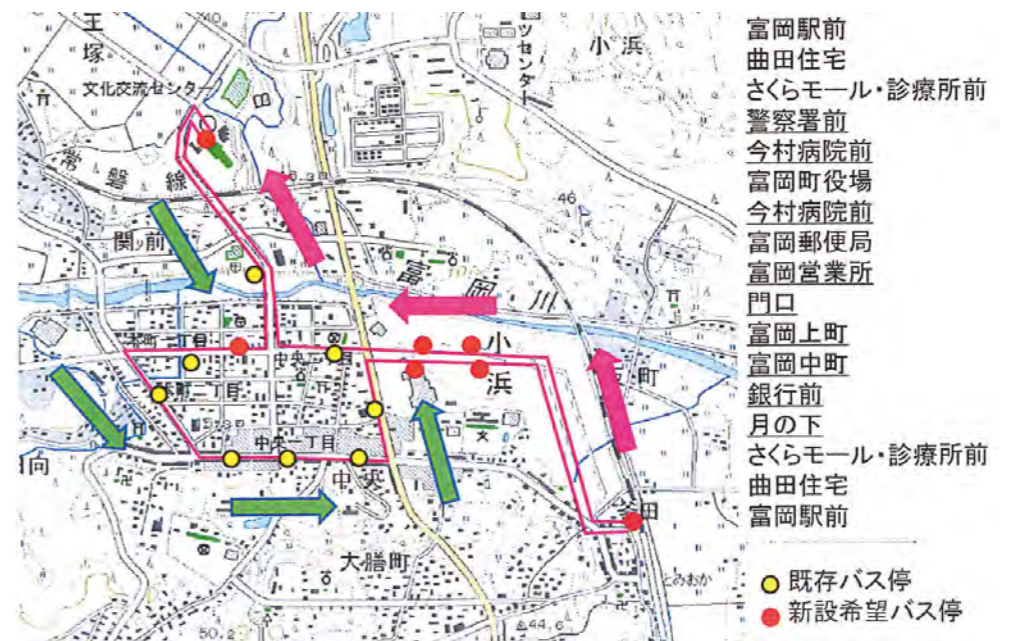
平成28年10月25日、富岡町役場郡山事務所 桑野分室で全員協議会を開催し、産業振興課より平成29年4月以降の町内路線バスの運行計画について、説明を受けました。

議員からは、現時点では利用者のニーズが読めない部分があるので、今後の状況に合わせて、運行形態を柔軟に見直せるよう求める声が聞かれました。

【路線バス運行エリア及び運行本数】(予定)

運行エリア	運行本数
①富岡町内復興拠点循環 ②いわき駅-ふたば未来学園-道の駅ならば-桝葉町役場前-富岡駅	①町内循環 1日 6循環 ②いわき駅⇒富岡駅 1日2本(朝、昼) 富岡駅⇒いわき駅 1日2本(昼、夕方)

【町内循環バスのバス停】(予定)



問 運賃について、町民への優遇措置はあるか。

答 産業振興課長

料金設定はこれからです。なるべく利用者の負担を少なくするように、例えば町民バスの発行なども視野に入れながら、検討していきたいと考えています。

問 今後、路線の見直しはできるのか。

答 産業振興課長

これからの町内の復興状況に合わせて、ルートの変更や新たなバス停の設置等、柔軟に対応していきたいと考えています。

問 既存のバス路線は。

答 産業振興課長

例えば川内村とつながりような広域的なバス路線については、被災地域のバス運行の再開について協議する県の会議で、議論をしていきたいと考えています。

問 循環する地域以外の町民に対する対策は。

答 産業振興課長

路線バスと並行して、デマンドタクシーについても事業者と協議を進めています。今後、こういった形態が良いのか検討し、帰還開始までにはお示ししたいと考えています。

議員が切り込む!!

質疑応答

夜ノ森駅のつつじを守れ

平成28年10月3日及び11月24日、富岡町役場郡山事務所 桑野分室で全員協議会を開催し、総務課より夜ノ森駅のつつじに対する考え方について、説明を受けました。

議員からは、夜ノ森駅のつつじは桜と並ぶ富岡町のシンボルであり、何とか良い形で残す方法を検討してほしいとの意見が多く聞かれました。

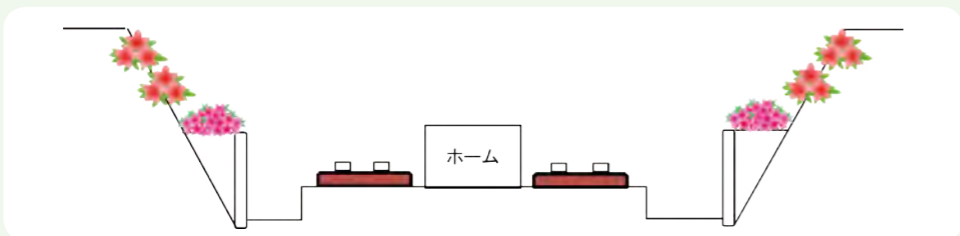
【JRの提案】 ※平成28年10月3日時点

- 除染工事を優先するため、駅構内のつつじは全部撤去する。
- 駅舎北側につつじの一部を移植する。
- 管理作業時の危険性や列車の運行調整などを考えると、法面部分への植栽は認められない。

【再提案(町とJRとの協議後)】 ※平成28年11月24日時点

- 土壌・つつじともに高い放射能濃度が確認されたことから、つつじを伐採し、徹底した除染を行う必要がある。
- 町の花つつじを、町の復興・再生のシンボルとして、新たに駅構内での再生を図る。
 - ①伐採した根から出た枝による再生
 - ②ホームに面する部分に段を設け、新たなつつじの植樹による再生

《再生イメージ図》



問 つつじ自体の放射線量が高いということ、伐根しない伐採はやむなしと感じる。夜の森が新たなつつじの名所となるような対策を講じてほしいが。

答 総務課長

駅舎だけでなく、遊歩道や駅舎南側の町有地にもつつじが植栽されていますので、細かく濃度等を測定し、町のシンボルとしての新たなつつじの再生に向けた対策を講じていきたいと考えています。

問 イメージ図の法面部分の費用負担は。

答 総務課長

法面の段部分については、JRに負担いただけることを確認しています。その後の維持管理については現在協議中ですので、詳細が決まり次第、お知らせします。

問 つつじの伐採を含めた夜ノ森駅の除染、改修工事は、いつごろ完了する予定か。

答 総務課長

JRでは、富岡浪江間が開通する前の平成32年3月までには、工事を完了させたいと考えているとのこと。

議員が切り込む!!

質疑応答

産業復興常任委員会

Q 今年度、町内で実証栽培した米の全量全袋検査の結果は。

A 実証栽培でできた米、589袋を検査した結果、全て1kg当たり検出限界値未満でした。

【産業振興課】

Q 町内の災害公営住宅の入居申し込みが少なかったと聞いた。整備計画を縮小する考えは。

A 申し込みが少なかった理由として、避難指示が解除されない現段階においては、町民の皆さまもなかなか判断がつかない状況なのだと考えています。今後、にぎわいが戻れば応募も増えるものと想定しています。また、2期分の集合住宅については、单身世帯向けなので今回の物件とは需要が異なると考えています。

2期整備分以降は、今回の申し込み状況を踏まえて、再度検討していきたいと考えます。

【生活支援課】

Q とみおか診療所や複合商業施設がオープンし、曲田地区はこれまで以上に交通量が増加することが予想される。解体工事等の車両とぶつからないようなルート設定は可能か。

A 環境省や県と協議し、診療所や商業施設の前の道路が混みあわないようなルート設定を検討します。

【拠点整備課】

Q 帰還困難区域もしっかり除草してほしいが。

A 町道は町が責任を持って管理し、除草しています。県道でまだ未除草の部分があれば、早急に県に除草させます。

【復旧課】

総務常任委員会

Q いわき市の仮設住宅は今後どうしていくのか。

A 将来的には、いわき市内で一か所に集約したいと考えています。生活支援課と連携をとり、各仮設住宅入居者の意向を丁寧に聞き取ります。

【いわき支所】

Q おだがいさまセンターは今後も活動を継続していくのか。

A 避難指示が解除となっても、郡山に残る町民の方はかなりの数になると予想されますので、規模を見直ししながら、平成29年度も活動は継続していく予定です。

【健康福祉課】

Q 来年度(平成30年1月)の成人式はどのような形で行うのか。

A 来年度の成人式の対象者は、震災時中学1年生だった子どもたちで、富岡町の中学校で卒業を迎えていません。そのことも考慮しながら、対象者にアンケート調査を実施し、開催場所や時期などが決まり次第、早めにお知らせしたと考えます。

【教育総務課】

Q 富岡駅前ににぎわいづくりについて、町の考えは。

A 富岡駅前について、具体的なビジョンはまだ決まっていません。今後、交流人口を含めて、にぎわいをつくるためにはどういったものがあるのかを調査し、よりよい駅前空間づくりの可能性を見極めていきたいと考えます。

【企画課】

常任委員会とは、本会議前に各課の事務の執行状況それぞれの常任委員会が調査し

議案などを事前に審査したり、などを調査する場です。た主な事業について報告します。

女川町

駅前を中心とした 住みよいまちづくり

民間主導・公民連携の まちづくり

産業復興
常任委員会



駅舎から伸びる道の先に元日の朝日が昇る



町並みは黒とレンガ色で統一されている

【女川町の復興まちづくりコンセプト】

民間主導・公民連携

⇒行政だけでは、これからの公共は担えない
(いかに稼ぎ、域内経済を循環させるか)

復興連絡協議会*により民間が一体となり、
民間主導で復興ビジョンを早期に策定

同じビジョンに向けて、公と民がチームとして、
それぞれが果たすべき得意な役割を担う

※復興連絡協議会

「女川の町は俺たちが守る」の旗印のもと、震災後
わずか1ヶ月後に、町の産業団体が中心となり発足

問 まちづくりに
勢いを生んでいる要因は、

答 女川町では、民間の
事業者にもリスクを背
負ってもらいます。責

問 復興へのまちづく
りに向けて、町内の若
手が1つになれた理由は、

答 女川町の歴史をつ
くってきた先輩たちが
一致団結して、30代、
40代の若手にまちづく
りの中心を担ってもら
い、それを自分たちが
支えようという合意形
成が図れたのは大き
かったと考えます。

問 新たなコミュニ
ティをつくるために必
要なことは、

答 石巻市健康部
明らかに支援が必要
な高齢者が多い場合は、
支援を想定した住宅づ
くりをする必要があります。
また、看護や介護を
行う人材を地元で確保
することは、とても重
要です。産業構造の中
で女性を中心とした仕
事、職場を確立できる
かどうか、地域コ
ミュニティを成り立た
せる上で非常に大切に
なると考えます。

問 子どもの心のケア
対策で難しいと感じる
ことは、

答 石巻市教育委員会
いまだにサイレンで
動けなくなる子どもや

所見 民と公、どちらが主
役ということではなく、
同じビジョンに向けて、
チームとしてそれぞれ
が果たすべき、得意な
役割を担う女川町のま
ちづくりの進め方は、
まさに理想であり、町
全体に大きな勢いを生
んでいると感じた。

所見 町でも、公と民が
連携してまちづくりを
進めている体制を築
けるよう議会として尽
力したいと考える。

所見 任から逃げない方々を
つくりたいと事業は進
まないと考えます。
そういった中で、女
川町で新たなビジネス
を生み、経済が回る活
動をしていきたいとい
う強い理念を持つ方が
女川にはいっぱいいて、
町に活気を与えている
のだと考えます。

所見 石巻市の目指す多職
種連携による地域コ
ミュニティの形成は先
進的な取り組みであり、
今後当町でもこのよう
な多角的な連携を意図
したまちづくりが必要
である。
児童の心のケアにつ
いては、専門的な知識
を持ったカウンセラー
を含めた周りの大人た
ちが、児童ひとりひと
りの心に寄り添ったき
め細かな対応が必要で
あると考える。

石巻市

地域包括システムと 児童の心のケア

総務常任委員会・産業復興常任委員会は、平成28年11月15日から16日にかけて、宮城県石巻市及び女川町の行政視察を行いました。

石巻市も女川町も放射能の影響は少なかったとはいえ、東日本大震災では甚大な被害を受け、今なお懸命に古里の復興に取り組んでいます。

今春の帰還を目指す当町にとって重要な課題となる「医療・介護・行政等の包括的な体制づくり」や「被災した児童の心のケア対策」「富岡駅前から曲田地区にかけた空間づくり」について、先行して取り組んでいる石巻市と女川町の政策を学ぶことができました。

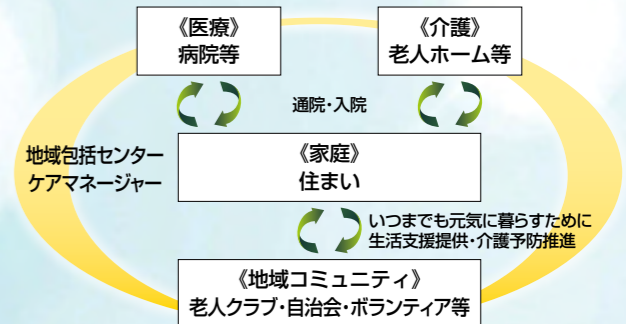
多職種連携による 地域コミュニティの形成

総務
常任委員会

【児童の心のケア対策】

- ①児童精神科医による巡回相談の実施
問題を抱えた児童・保護者・教員に対する相談活動
- ②園児・児童・生徒に対する健康実態調査の実施
調査結果を各学校にフィードバック
- ③心の支援体制の確立
毎月関係機関が集まり、ケース会議を実施

【地域包括ケアシステムの姿】



《皆さまに愛読される議会だよりを目指して》

これからも議会情報を よりわかりやすくお伝えします

平成28年10月24日、議会報のさらなる充実を求め、平成27年度第30回広報コンクールで最優秀賞を受賞された、山形県川西町議会広報広聴常任委員会のご協力を頂き、編集方法や紙面レイアウトの決め方、企画構成など、幅広くお話をお聞きしました。

【川西町データ】

人口 15,835人(平成28年11月末現在)
面積 166.60km²(富岡町の約2.5倍)
特色 山形県置賜地方、米沢盆地のほぼ中央に位置し、豊かな自然を利用した農業が盛んで、米どころとして知られている。
川西ダリア園では、650種10万本のダリアが咲き、8月上旬から11月上旬、降霜の時期まで開園。



訴求力のある企画を読みやすくレイアウト



ダリアは町の花にもなっている



多くの候補写真の中から表紙を選定

答 議会広報広聴委員
今から8年前に紙面刷新の取り組みを始めました。クリニックで指摘された事項を忠実に紙面に反映させ、コンタールの審査基準を100%満たすという考えのもと、作成した議会報は年々良くなっていると自分たちでも感じられるようになりました。

川西町の議会報は「町民参加の拡大」と「政策提言の具現化」という明確な理念のもと、様々な工夫とアイデアが紙面の随所に盛り込まれた素晴らしい議会報であると感じるとともに、今後の本町議会報作成に取り入れていきたい。

問 住民参加企画が充実しているが人選は、
答 議会広報広聴委員
7地区の地区回り制です。当番地区から選出された広報広聴委員がいればその委員がいなければその地区選出の議員と相談して、人選を行います。

所見
議会広報モニター及びアドバイザー制度の導入により、町民の意見が紙面構成の改善につながるのはもちろん、町民が議会に関心をもつことにもつながっている。
また、議員が提言した政策を1年後に追跡調査し、5段階で評価する企画は、議員が提言した政策が町政にどのように反映されているか、町民にわかりやすく伝えていく。

危機管理意識をもち、 二重・三重の安全対策を

平成28年12月7日に開催した原子力等特別委員会で、福島第一原子力発電所第1号機から4号機の廃止措置等に向けた中長期ロードマップの進捗状況と、3号機原子炉注水停止及び使用済燃料プール循環冷却二次系設備停止の2件の事故について、東京電力(株)より説明を受けました。

議員からは、作業員の不注意が事故の原因となっていることから、廃炉作業に携わる職員すべてがしっかりと危機管理意識をもつことと、万が一の事故が起こった際の二重三重の安全対策を講じるようにとの強い要望が出されました。

議員が切り込む!!
質疑応答

問 作業員のひじがカバーに当たって外れ、スイッチが切れたことで原子炉冷却用ポンプが停止したという説明だが、カバーはどのような形で設置されていたのか。

答 東京電力(株)
磁石により、壁とカバーを接着させていました。

問 磁石では簡単に外れることは十分予想できる。原発廃炉作業という重要な任務に対する緊張感がかけているのでは。

答 東京電力(株)
度重なる不手際について大変申し訳なく思っています。ただ、

現場で働く作業員は本当に一生懸命仕事をしています。しかし、会社として、全体の連携がうまく取れていないことについては、責任を感じています。

問 冷却用ポンプが停止してから再稼働するまで1時間もかかったのはなぜか。

答 東京電力(株)
スイッチを切ってしまった者には機器を動作させる権限がないため、再稼働に時間がかかってしまいました。

今回の事故を会社全体で重く受け止め、再発防止に向けてできる限りの対策を講じます。

東京電力ホールディングス(株)に抗議文を手交



抗議文を手交

平成28年12月12日、富岡町役場郡山事務所において、原子力発電所等に関する特別委員会は、最近の東京電力ホールディングス(株)の度重なる不祥事に対して、再発防止のための改善策を求める抗議文を手交しました。

《手交者》 原子力発電所等特別委員会
委員長 宇佐神 幸一
副委員長 堀本 典明
富岡町議会 議長 塚野 芳美
副議長 渡辺 英博

《相手方》 東京電力ホールディングス(株)
福島復興本社代表 石崎 芳行

ちよとひとと

みなさまの声

Q 20歳を迎えた感想は？

A 震災時は中学生で、ちょうど反抗期だったこともあり、家族にはだいぶ迷惑をかけてしまいました。

20歳になり、これから社会にも出るので、自分の行動に責任を持てるような立派な大人になることが、これまで育ててくれた家族への恩返しだと思っています。

Q 20歳を迎え、まずやってみたいことは？

A 友人たちとお酒を飲んで、これまでの思い出やこれからの夢を熱く語り合いたいです。

Q ふるさと富岡での思い出で、心に残っていることは？

A 毎日のようにつつみ公園で釣りをしていたことです。

また、毎年楽しみにしていた夜の森の桜祭りや麓山の火祭りは今でも強く心に残っています。

Q ふるさと富岡の復興のために、何が重要だと思いますか？

A 町内に企業を誘致し、若い人が関心を持つような就職先を提供することや、観光客を町内に招き、富岡町は安全だということを全国に発信することが重要だと思います。

そのためにも、麓山の火祭りなど、伝統ある町内のお祭りを早期に開催し、復興を目指してほしいと思います。

Q 将来の夢は？

A 消防士になりたいです。

中学生の時、双葉広域圏消防に職場体験に行った時に、そこで働く皆さんの仕事に取り組む真剣な姿勢を目の当たりにし、自分も同じ職業に就きたいと思いました。できることならば、富岡町に帰り、双葉広域圏消防に入って、地域防災の役に立てればと思っています。



成人式実行委員長 遠藤 裕也 さん
(仲町行政区)

糸魚川市大規模火災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます

富岡町議会は糸魚川市大規模火災の被災地に義援金をお送りしました。

被害に遭われた糸魚川市民の皆様にお役立ていただくことを望むとともに、1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

富岡町議会議員一同

新年明けましておめでとう
ございます。

本年は富岡町にとって重要な判断の年であり、復興に向けた一歩を踏み出す年になります。

町内では生活環境整備に向けた工事も急ピッチで進められており、「さくらモールとみおか」は新たな交流の場になっています。

表紙は成人式で同級生と久しぶりに再会し、満面の笑みを浮かべる写真です。

このような笑みを絶やさなように、編集員一同心を新たに一年間頑張ります。

(遠藤 一善)

発行責任者

議長 塚野芳美

議会報編集特別委員会

委員長 堀本典明

副委員長 渡辺高一

委員 高野匠美

委員 遠藤一善

委員 山本育男

委員 渡辺英博

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町公式
ホームページ



富岡町

で 検索

